

平成 23 年度
第 2 回 西宮市幼児期の教育・保育審議会

(資料集 : P 1 ~ 1 7)

平成 23 年 8 月 1 日 (月) 19:00 ~ 21:00

市役所 東館 8 階 801 ・ 802 会議室

目次

. 平成 23 年度第 1 回格差是正・こども支援部会の報告 1

. 平成 23 年度第 2 回適正配置部会の報告 13

第1回格差是正・こども支援部会の報告

意見要約

1. 格差是正・こども支援部会で取り組む内容について

- ・審議事項が多いので、状況によって継続審議とすることも可とした方がよい。
- ・第5回目も活用して、十分な審議を行っていく。

2. 子ども・子育て環境（めざす子ども像・保育のあり方）

- ・社会の変容に伴って、生きる力の源泉の育まれる要素が減退してきている。遊び場や子ども社会を再形成することに取り組む必要がある。
- ・家族が子どもとゆとりを持って生活できる、家族を支えることにつながるように。
- ・「こども路地」のような異年齢集団で、外で遊べるような環境があればと思う。
- ・子どもが愛されているという気持ちを家庭や地域で感じる、自己肯定感をもてる教育を望む。
- ・昔の子どもに比べて、知識の量や情報力は優れている。選択する責任を含めて、自分で選択していく力をはぐくむ必要がある。
- ・自然環境のもつ教育力を生かしていく。

放課後や休日の遊び場・居場所として、外で、生きる力の育成につながる遊び場の開発・整備を中心に、子どもをとりまく環境のあり方を今後検討していく。

3. 幼保小の連携・研修制度について

- ・学校教育のスタイルと就学前の教育・保育のスタイルとの移行期の支援計画を事例研究的につくっていく必要がある。
- ・小学校のために幼稚園や保育所があるわけではないことを前提に、段差やつながりについて、いかに小学校と幼稚園・保育所がお互いに歩み寄れるかを検討していく必要がある。
- ・イベント的なものから、カリキュラムや指導計画に位置づく取り組みにしていく必要がある。
- ・施設種別を超えた職場研修は、相互理解につながる。
- ・研修については、それぞれに、目的や経緯があって位置づいている。合同で行うためには、課題整理し、相応に分担していく必要がある。
- ・子どもが地域で育つ環境づくりを視野に入れ、研修を「こども指針」なども含めて検討していく時期に来ている。
- ・中核市になってから、認可外保育施設にも、子育て総合センター等からの案内が来るようになったのはありがたい。それでも、参加できるようになるにはまだまだ課題はある。

4. 認可外保育施設への支援について

- ・保育所待機児童でない子どもたちの分も含めて、認可外保育施設への支援を考える必要がある。
- ・認可外保育施設の実態を把握するための指導監督の充実は必要だが、指摘するだけにとどまらず、保育の向上につながる指導をしっかりとっていく必要がある。
- ・認可保育所で対応できない多様なニーズに対応している認可外保育施設の役割を理解し、子どもの環境や保護者負担等の改善のために公費を投入すべきではないか。
- ・健康診断に対する支援など、西宮にいる子どもとして最低限保障されるべき支援を行うという観点から検討を行ってはどうか。

1. 平成 23 年度格差是正・こども支援部会で取り組む内容について

- 審議項目 (1) 幼稚園と保育所、公立と私立、家庭や地域における子育ての役割について
 (4) 保護者負担の格差是正および公費投入のあり方について
 (5) 特別支援教育、障害児保育のあり方について
 (6) 行政組織・推進体制の一元化について
 () 子ども・子育て環境について(昨年度の審議の中で検討を要する項目となったもの)

検討内容 幼児の発達・成長を支える環境の向上、教育・保育従事者の教育・保育力向上に向け、どのような取り組みが必要か検討する。また、認可外保育施設や在家庭との格差について、これまでの議論を踏まえ、適正配置部会と連携して是正の取り組みを検討する。

検討テーマ 子ども・子育て環境について(地域における子育て支援の充実について)(1)()
 幼保小の連携、研修制度について(1)
 認可外保育施設への支援等について(4)
 インクルージョンの理念に基づく保育システム・支援体制などについて(5)
 幼保一体化へ向けての現状分析と課題整理について(6)

| 回 | 議題 | テーマ | 資料 |
|-----|-----------------------|---|--|
| 第1回 | 子ども・子育て環境1 | ・西宮の子どもと教育・保育の理想 | ・保育指針と教育要領からの抜粋 ・環境学習都市宣言等 |
| | 幼保小の連携、研修制度1 | ・幼保小連携の取り組みの充実に向けて ・公私幼保協同による研修の実現に向けて | ・幼保小連携の根拠と交流内容 ・相互体験研修でのアンケート結果 ・研修一覧(公立幼保の研修、私立幼稚園連合会、民間保育所協議会) |
| | 認可外への支援 | ・認証制度(適正配置部会担当)以外の支援で | ・認可外保育施設への支援(上記研修一覧) |
| 第2回 | 子ども・子育て環境2 | ・西宮の特色をどう重点化するか | ・現状把握した調査結果等 ・各機関での取り組み事例 |
| | 幼保小の連携、研修制度2 | ・新設する研修について ・協同する研修について | ・協同研修に取り組んでいる他市の事例 |
| | 特別支援教育1(方向性) | ・相談体制と各機関の連携について ・入園・入所について | ・取り組みの事例(公私立) ・西宮市の現状(ニーズ・対応機関) |
| 第3回 | 特別支援教育2(支援体制など具体策の検討) | ・専門機関や専門職との連携 ・人材育成と研修 ・児童発達支援センターに期待すること | ・児童発達支援センターの計画概要 |
| 第4回 | 特別支援教育3(まとめ) | ・保育内容や保育体制 ・具体的な提案 | ・支援体制の具体策の素案 |
| | 行政組織・推進体制 | ・幼保一体化へ向けての、西宮市として方向性 | ・子ども・子育て新システム検討会議作業グループの資料からの抜粋 |
| 第5回 | まとめ | | |

2. 子ども・子育て環境について

【幼稚園教育要領】

幼児期における教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育法第 22 条に規定する目的を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。

このため、教師は幼児との信頼関係を十分に築き、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする。これらを踏まえ、次に示す事項を重視して教育を行わなければならない。

(第 1 章総則、第 1 幼稚園教育の基本より)

【保育所保育指針】

保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。このため、保育所の保育は、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うために、次の目標を目指して行わなければならない。

(第一章総則、3 保育の原理、(一) 保育の目標より)

【教育の 5 領域と養護の 2 項目についてのトピック項目】

| | |
|-------|----------------------|
| 健康 | 食生活、生活習慣、運動 |
| 人間関係 | 異年齢の子ども集団、地域の人とのかかわり |
| 環境 | 豊かな自然環境にふれての遊び |
| 言葉 | ふさわしい言葉、文化にふれる |
| 表現 | 社会性、コミュニケーションの基礎 |
| 生命の保持 | 生活リズム、健康増進 |
| 情緒の安定 | 自発性、探索意欲、自分への自信 |

【環境学習都市宣言(こども版行動憲章)】

~ 今日から始めること ~

私たちは、環境学習にすすんで参加し、さまざまな人たちと力をあわせ、環境を大切にす西宮市を 100 年後も世界中の人に誇れるまちにします。そのために、次のことから始めます。

- 1 私たちは、自然のすばらしさを体験し、歴史・文化・産業やくらしと環境との関わりについて学びます。
- 2 私たちは、自分ができるところから行動し、身近な人たちと協力しあいます。
- 3 私たちは、「もの」をくり返し使い、限りある「エネルギー」を大切にすまちづくりに参加します。
- 4 私たちは、人と人、人と自然が共に生き、公正で平和な社会をめざします。
- 5 私たちは、世界中の人と手をとって、かけがえのない地球を未来に引き継いでいきます。

【西宮市家庭教育振興市民会議】

<重点目標> 思いやりのある西宮っ子を育てよう

『5つの実践目標』

育てよう 優しい心とがんばる力

わたしたちは、他者を思いやる心と、自立心・自制心を育むために、家庭での教育を大切にします。

声かけよう おはよう ありがとう ごめんなさい

わたしたちは、あいさつを交わし、感謝の言葉を伝えることで、家族・友だち・地域の絆を深めます。

見守ろう よその子 我が子 区別なく

わたしたちは、家庭・学校・地域が連携し、子どもを見守り、支えていきます。

習慣づけよう 早寝 早起き 朝ごはん

わたしたちは、子どもの意欲・体力・気力を充実させるために、基本的な生活習慣を大切にします。

外に出よう 元気に遊んで 友だちいっぱい

わたしたちは、子どもが様々な人との交流を通して、社会性が育める環境を大切にします。

昭和58年に設定したのは

1. 西宮っ子は、すすんであいさつをします。
2. 西宮っ子は、乗り物の中ですすんで立ちます。
3. 西宮っ子は、交通ルールや社会のきまりをよく守ります。
4. 西宮っ子は、公園や広場、学校などを美しくします。
5. 西宮っ子は、すすんで読書やスポーツに親しみます。

【兵庫県教育委員会 平成23年度 指導の重点】

元気兵庫へ ころ豊かな人づくり

- 夢や志を抱き未来を切り拓く子どもたちの「生きる力」を育む -

- 1 知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人
- 2 ふるさとを愛し、互いに支え合い協力しながら明日の兵庫を切り拓いていく人
- 3 社会の構成員として自覚と責任をもって主体的に行動し、日本の未来を担う人
- 4 我が国の伝統と文化を基盤として、世界に通用する力を培い、高い志をもって国際社会に貢献できる人

3. 幼保小の連携、研修制度について

【保育所保育指針、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領等（関係箇所抜粋）】

< 保育所 >

- ・ 子どもの生活や発達の連続性を踏まえ、保育の内容の工夫を図るとともに、就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童との交流、職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るよう配慮すること。
- ・ 子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

< 幼稚園 >

- ・ 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。
- ・ 幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のため、幼児と児童の交流の機会を設けたり、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会を設けたりするなど、連携を図るようすること。

< 小学校 >

- ・ 学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めること。また、小学校間、幼稚園や保育所、中学校及び特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会を設けること。

【幼保小の連携の主なもの】

< 子どもの交流 >

幼児と児童の交流活動

幼児同士の交流活動

幼児・児童と地域の交流活動

< 教職員の交流 >

相互理解

保育や授業の相互参観

合同研修会

共同研究

相互職場体験

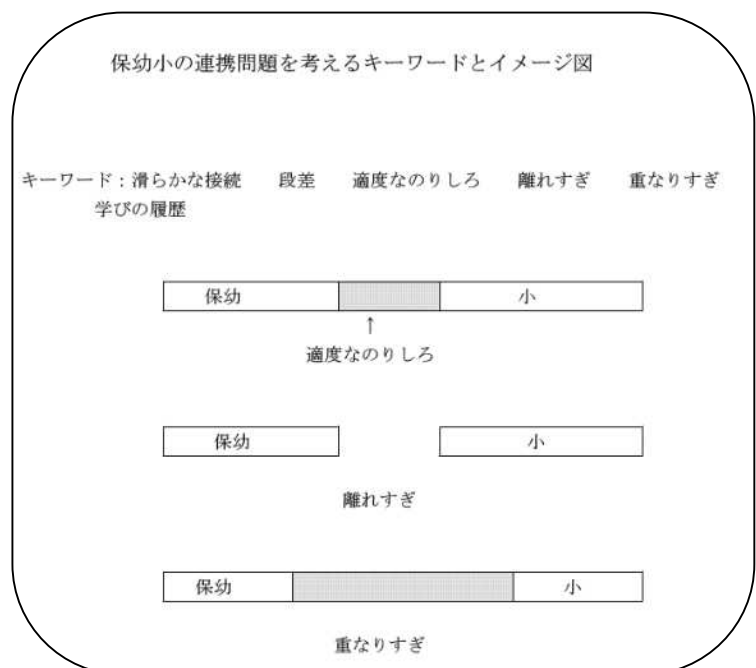
< 課程編成・指導方法の工夫 >

スタートアップ・カリキュラム

一貫性のある保育計画・指導計画

学びの連続性

施設の活用



< 連絡体制の整備 >

連絡網の作成

メーリングリストの作成

就学時の情報交換

園だより・保育所だより・学校だよりの交換

参考：「保育所や幼稚園等と小学校における連携事例集」平成 21 年 3 月、文部科学省・厚生労働省

【平成 22 年度教職員相互体験研修】

< 日程表 (61 幼稚園中 30 園で公開) >

| 地区 | 公開幼稚園名 | 実施月日 |
|-----|-----------|---------------------|
| 浜脇1 | いるか幼稚園 | 10月27日(水) |
| | 用海幼稚園 | 1月25日(火) |
| | 浜脇幼稚園 | 1月27日(木) |
| 浜脇2 | 今津幼稚園 | 11月12日(金) |
| | 南甲子園幼稚園 | 2月22日(火) |
| | 浜甲子園健康幼稚園 | 11月2日(火) |
| 大社1 | 苦楽園口幼稚園 | 11月9日(火) |
| 大社2 | 付属あおぞら幼稚園 | 6月22日(火) |
| | 夙川短大付属幼稚園 | 11月2日(火) |
| 広田1 | 関西学院聖和幼稚園 | 1月25日(火) ~26日(水) |
| | 上ヶ原幼稚園 | 2月28日(月) |
| 広田2 | 阪急幼稚園 | 10月18日(月) |
| | 瓦木幼稚園 | 1月18日(火) |
| | 西宮共同幼稚園 | 2月22日(火) ~25日(金) |

| 地区 | 公開幼稚園名 | 実施月日 |
|-----|----------|-----------|
| 甲東1 | 段上幼稚園 | 9月7日(水) |
| 甲東2 | すずらん幼稚園 | 11月18日(木) |
| 上甲 | 鳴尾北幼稚園 | 7月1日(木) |
| | 春風幼稚園 | 11月9日(火) |
| | 小松幼稚園 | 11月11日(木) |
| | 上甲子園幼稚園 | 12月16日(木) |
| | 甲子園二葉幼稚園 | 2月1日(火) |
| 鳴尾1 | 浜甲子園幼稚園 | 1月25日(火) |
| | 光明幼稚園 | 3月3日(木) |
| 鳴尾2 | 高須西幼稚園 | 10月13日(水) |
| | 睦幼稚園 | 6月22日(火) |
| 北 | 山口幼稚園 | 6月8日(火) |
| | 名塩幼稚園 | 11月12日(金) |
| | 幸幼稚園 | 11月15日(月) |
| | 東山幼稚園 | 1月20日(木) |
| | 生瀬幼稚園 | 2月22日(火) |

< 参加者の感想から >

- ・時間の取り方、援助法、子どもを認める言葉かけなど、今回学んだことを日常の保育に活かしたい。
- ・担任の先生の子ども達を見守る雰囲気や声かけなどを見て、自分の行動を振り返るきっかけになった。
- ・公立・私立関係なく、どこの校園所も公開することは、教師同士の刺激になり良いことだと思いました。
- ・幼稚園での保育実践とは、どんなものなのかが分からなかったの、それを見学できたことが一つの学びとなった。
- ・小学校入学前の子ども達の生活の様子を一部でも見られてよかった。
- ・幼稚園の様子や発達段階をしっかりと見ることができました。
- ・幼稚園での子ども達の学びをスムーズに小学校につなげていけるように、私たちももっと幼稚園・保育所のことを学んでいかないと反省しました。
- ・幼稚園・保育所で、どのように子ども達が過ごし、また、指導を受けているかということ十分に把握して、小学校に入学してくる子ども達を指導することは、子ども達にとっても、教師側にとっても大切だと思いました。
- ・小学校に上がるまでにつける力として、『人の話を聞けること』『自分の思いを出せること』の2点を特に話し合い、その大切さを改めて実感しました。

【研修一覧】

子育て総合センター（こども部）開催分＜専門研修＞（平成23年度分）

| No | 研修名・テーマ・内容等 | 講師 | 日程対象 |
|----|---------------------------|---------------|------------|
| 1 | 「特別支援教育の方法～行動への取り組み～」 | 里見 恵子 氏 | 7/21 保幼小 |
| 2 | 「生きる力の基礎を育む保育内容」 | 寺見 陽子 氏 | 7/22 保幼小 |
| 3 | 幼・保・小教職員相互体験研修(保育所公開) | | ブロックで調整保幼小 |
| 4 | 「育ちと学びをつなぐ、カリキュラムの創造」 | 善野 八千子 氏 | 10/25 保幼小 |
| 5 | 実践報告「連携の実践から学ぶ」 | (津門小学校・瓦木幼稚園) | 1/13 保幼小 |
| 6 | 「絵本でつなぐ、絵本ではくむ」 | 横山 真貴子 氏 | 5/26 保幼小 |
| 7 | 「幼児期の今！つきたい運動習慣」 | 柳本 有ニ 氏 | 7/28 保幼小 |
| 8 | 「自然と子どもたちをつなぐ」 | 菅井 啓之 氏 | 8/17 保幼小 |
| 9 | 「幼児教育の動向をふまえ、これからの保育を考える」 | 汐見 稔幸 氏 | 11/29 保幼小 |
| 10 | 「特別支援教育にかかわる内容について」 | 北口 勝也 氏 | 2/24 保幼小 |
| 11 | 「幼少期に自然に触れることの大切さ」 | 出原 大 氏 | 5/14 保幼小 |
| 12 | 「楽器遊びのネタ大集合！」 | 高見 仁志 氏 | 5/28 保幼小 |
| 13 | 「児童文化財としてパネルシアターを学ぶ」 | 高橋 司 氏 | 6/18 保幼小 |
| 14 | 「パネルシアターの制作を体験」 | 高橋 司 氏 | 6/18 保幼小 |
| 15 | 「現場の先生にこそできる、子どもを伸ばす体育指導」 | 井原 一久 氏 | 6/25 保幼小 |
| 16 | 「声の力・ことばの力～心に響く読み聞かせ～」 | 来栖 史江 氏 | 7/2 保幼小 |
| 17 | 「つながりあそびうた」パート | 町田 浩志 氏 | 10/22 保幼小 |
| 18 | 「つながりあそびうた」パート | 町田 浩志 氏 | 10/22 保幼小 |

研修グループ（市教委）が開催する夏季研修から幼稚園教員参加対象分（平成22年度分）

| | | | |
|----|---|--------------------|-------------|
| 1 | 学校経営講座「学校情報化について」講話・演習「教育法規」 | 森本 英治、東川 富彦 | 7/23 校園長推薦者 |
| 2 | プレゼンテーション1日研修 | ITシステムインストラクター | 7/26 幼小中高特 |
| 3 | 「国際教育の実践から学ぶ」- JSLの実施と実践 - | 前田 年生 氏 | 7/26 幼小中高特 |
| 4 | 「心のきずなを深める学級経営」- 人権教育を視点において - | 仲島 正教 氏 | 7/26 幼小中高特 |
| 5 | 「食育と環境教育」(森永乳業(株)近畿工場・金田運輸(株)) | 小川 雅由 氏 | 7/28 幼小中高特 |
| 6 | 教育相談研修「教育相談の基礎基本」 | スクーリングサポートチーム教育相談員 | 7/28 幼小中高特 |
| 7 | 「自然体験活動(甲山周辺)を通じた環境学習」 | 小川 雅由 氏 | 7/29 幼小中高特 |
| 8 | 「総合的な学習」研修総合的な学習の実践事例 | 鶴来 浩之 氏 | 7/30 幼小中高特 |
| 9 | 教育相談研修「カウンセリングパワーアップ研修」 | 下口 雄山 氏 | 7/30 幼小中高特 |
| 10 | 特別支援教育コーディネーター- ICFモデルに基づく(障害観(特性))について - | 特別支援教育G指導主事等 | 7/30 幼小中特 |
| 11 | 「応急手当普及員(救命指導員)」講習会 | 西宮市消防局救急課職員 | 8/2 幼小中高特 |
| 12 | 兵庫県立人と自然の博物館訪問研修 | 鈴木武生氏、平松紳一氏 | 8/3 幼小中高特 |
| 13 | 「応急手当普及員(救命指導員)」講習会 | 西宮市消防局救急課職員 | 8/3 幼小中高特 |
| 14 | 校園長研修「多文化共生社会を考える」+1 | 林 範夫 氏、垣内 浩 | 8/3 校園長 |
| 15 | 人権教育研修「国際化社会と民族共生の問題について」 | 榎井 縁 氏 | 8/4 幼小中高特 |
| 16 | 「応急手当普及員(救命指導員)」講習会 | 西宮市消防局救急課職員 | 8/4 幼小中高特 |
| 17 | 人権教育研修「男女共同参画社会と教育課題について」 | 朴木 佳緒留 氏 | 8/5 幼小中高特 |

| | | | |
|----|----------------------------|----------------------|-------------|
| 18 | 学級経営研修 学級経営実践報告 | 福田 祐二、漁 佳子 | 8/9 幼小中特 |
| 19 | 学級経営研修「グループワークを活かしたふれあい作り」 | 中村 健 氏 | 8/9 幼小中特 |
| 20 | 学校経営講座 「今日的教育課題」必須・選択 | 由良 周三、補佐・係長等 | 8/17 校園長推薦者 |
| 21 | カウンセリング研修 午前音楽療法(初級編) | 後藤 浩子 氏 | 8/18 幼小中高特 |
| 22 | カウンセリング研修 午後音楽療法(応用編) | 後藤 浩子 氏 | 8/18 幼小中高特 |
| 23 | 校園長研修「私学における教育の経営・努力の現状」 | 尾崎 八郎 氏 | 8/18 校園長 |
| 24 | 研究指導員・研究員研修「教えて考えさせる授業」 | 鍋木 良夫 氏 | 8/19 幼小中特 |
| 25 | 教育相談研修「発達障害と不登校(行き渋り)」 | NPO「TRY アンクル」スタッフ | 8/19 幼小中高特 |
| 26 | 学校経営講座 講話・演習「教育と哲学」 | 野口 勝三 氏 | 8/19 校園長推薦者 |
| 27 | プレゼンテーション1日研修 | Jバ・システムインストラクター | 8/24 幼小中高特 |
| 28 | 企画研修「子どもたちの力を伸ばす清掃指導セミナー」 | (株)ダスキン研究所員 | 8/24 幼小中高特 |
| 29 | 学校現場の情報セキュリティ対策研修 | JMC エデュケーションインストラクター | 8/25 幼小中特 |
| 30 | パソコン活用研修 写真加工研修 | 市川ソフトインストラクター | 8/25 幼小中特 |
| 31 | プレゼンテーション1日研修 | Jバ・システムインストラクター | 8/26 幼小中高特 |

保育所事業グループ(こども部)開催分(平成22年度分)

| | | | |
|----|----------------------|-------------|--------------|
| 1 | 職員専門研修 保育研究 | 鶴 宏史 氏 | 5/25、2/25 |
| 2 | 職員専門研修 保育指針研修 | 寺見 陽子 氏 | 7/8 |
| 3 | 職員専門研修 保育指針研修 | 橋本 真紀 氏 | 7/28 |
| 4 | 職員専門研修 人権研修 | 仲島 正教 氏 | 6/29、1/12 |
| 5 | 職員専門研修 環境・食育(実地)(発表) | 小川 雅由 氏 | 11/8、1/19 |
| 6 | 職員専門研修 主任保育士・副保育所長研修 | 倉石 哲也 氏 | 9/1、9/6、9/24 |
| 7 | 職員専門研修 リーダーシップ | 矢藤 誠慈郎 氏 | 11/6 公 |
| 8 | 職員専門研修 障がい児保育 | 島田 照三 氏 | 2/3 |
| 9 | 職員専門研修 所長・施設長研修 | 児童・母子支援グループ | 12/24 |
| 10 | 職員専門研修 保健 | | 6/15 |
| 11 | 職員専門研修 調理員・職員専門研修 | 平野 直美 氏 | 8/4、8/6 公 |
| 12 | 職員専門研修 調理員・職員専門研修 | 宮谷 秀一 氏 | 11/29 公 |
| 13 | チーム保育所研修 ビオトープ | 環境学習推進グループ | 7/5 公 |
| 14 | チーム保育所研修 ビオトープ | 小川 雅由 氏 | 7/5、9/13 公 |
| 15 | チーム保育所研修 ビオトープ | 粕田 光男 氏 | 10/22 公 |
| 16 | チーム保育所研修 食育 | 今津屋 直子 氏 | 8/1 公 |
| 17 | チーム保育所研修 乳児保育(5回) | 西村 真美 氏 | 9/13 2/15 公 |
| 18 | 統合保育 ケース研 | 島田 照三 氏 | 6/17、11/18 |
| 19 | 統合保育 チーム 自主ケース研 ~ | | 6/4 11/16 公 |
| 20 | 保育研究会 公開保育 | 鶴 宏史 氏 | 6/1 11/19 公 |
| 21 | 保育研究会 公開保育 | | 6/18 12/8 公 |
| 22 | 新任所長・副保育所長研修 | 保育所事業G | 4/9、9/13 公 |
| 23 | 新任保育士研修 新任事前研修 | 保育所事業G | 3/30 公 |
| 24 | 新任保育士研修 新任臨時保育士研修 | 保育所事業G | 6/3 公 |

| | | | |
|----|---------------------|--------------|------------------|
| 25 | 新任保育士研修 接遇研修(必須) | 婦木 雅子(学文殿所長) | 6/24、7/8、12/13 公 |
| 26 | 新任保育士研修 中途採用臨時保育士研修 | 保育所事業G | 11/1 公 |
| 27 | 新任保育士研修 運動会見学7所 | | 10/5 10/14 公 |

(派遣研修)

| | | | |
|----|----------------------------|--------------|---------------|
| 1 | 防犯教室講習会 大社小学校(教育委員会) | | 4/22 |
| 2 | 新任保育士研修(兵庫県社会福祉協議会) | 桑名 恵子 氏 | 5/31、6/21 |
| 3 | わかば園療育公開 | | 6/21 |
| 4 | 環境学習実践研修(兵庫県農政環境部) | | 6/24 |
| 5 | 武庫川女子大学付属保育園開園記念講演会 | 増田 まゆみ 氏 | 7/3 |
| 6 | 芦屋特別支援学校小学校部見学会 | | 7/6 |
| 7 | 係長第2部研修(研修厚生課) | | 7/14 |
| 8 | 近畿ブロック保育研究集会 | | 7/16 |
| 9 | 子供の城障害児教育夏期連続講座 公文教育会館 | 里美恵子氏、安藤忠氏他 | 7/19、7/25、8/1 |
| 10 | 公開療育講演会 阪神特別支援学校 | 松浦 直己 氏 | 8/20 |
| 11 | 22年度保育所初任保育所長研修会(日本保育協会) | 今里譲氏、丸山裕美子氏他 | 9/14 9/17 |
| 12 | 平成22年度兵庫県保育大会 | | 10/23 |
| 13 | 平成22年度兵庫県乳児保育研修会 | | 10/18 26 |
| 14 | 「こころのケア」シンポジウム | 西澤哲氏、立木茂雄氏他 | 11/25 |
| 15 | 第28回公立施設長研修会 | | 11/26 |
| 16 | 母子保健セミナー (財)母子衛生研究会 | 池谷美樹氏、中野茂氏 | 12/19 |
| 17 | 22年度保育所事故予防研修会(日本保育協会) | 丸山裕美氏、寺町東子氏他 | 12/20 22 |
| 18 | 平成22年度近畿・中国・四国主任保育士研修会 | 丸山裕美子氏、今井和子氏 | 1/18 21 |
| 19 | 保育士会研修会(兵庫県保育協会) | 香取 貴信 氏 | 1/21 |
| 20 | 保育者研究集会(兵庫県保育協会) | 前橋 明 氏 | 1/25 |
| 21 | 心の通う子育て支援を目指して(兵庫県看護協会) | 森田恵子氏、上坪成子氏他 | 1/27 |
| 22 | 食育シンポジウム(兵庫県保育協会) | 保田 茂 氏 | 2/1 |
| 23 | 食の安心安全講演会(西宮市保健所) | 園部まり子氏、太田裕見氏 | 2/7 |
| 24 | 子どもと家族に寄り添う為に(児童・母子支援グループ) | 側垣 一也 氏 | 2/14 |
| 25 | 22年度保育所中堅保育所長研修会(日本保育協会) | | 2/23 25 |

特別支援教育グループ(市教委)開催分

特別支援教育コーディネーター研修 年3回(幼小中)

特別支援教育研修(幼小中高)

学校人権教育グループ(市教委)・西同協(任意団体)開催分

地区別人権研修 年6回(内3回は学校園公開)(幼小中高特)

西同協就学前部会(公私幼保)

西同協委員研修・地区別研修

西宮市立幼稚園長会開催分
 幼児教育研究会 ほぼ月1回
 園長研修、教頭研修
 新任教員研修
 特別支援教育研究会

兵庫県私立幼稚園協会開催分(平成22年度分)

| | | | |
|----|--------------------------------|-----------------|-------------|
| 1 | 学校安全 | 山根 嘉樹 氏 | 5/17、6/14 |
| 2 | 発達障害と特別支援 | 井上 序子 氏 | 6/4、6/7 |
| 3 | 感染症などの対策 | 稲田 忠明 氏、東 昭英 氏 | 6/21、6/24 |
| 4 | 環境(1) | 小川 博久 氏 | 8/9 |
| 5 | 環境(2) | 小川 博久 氏 | 8/10 |
| 6 | 同僚や保護者との信頼関係を高めるコーチング・レベルアップ研修 | 國弘 隆子 氏 | 8/23、8/25 |
| 7 | カウンセリング実習 | 根本 真弓 氏 | 8/19、8/20 |
| 8 | 発達心理学 | 無藤 隆 氏 | 10/20、10/27 |
| 9 | 家庭や地域との連携 | 山縣 文治 氏 | 11/12、11/25 |
| 10 | 栄養学と食育 | 大谷 貴美子 氏 | 11/10、11/29 |
| 11 | 子育て支援実践事例発表並びに実践の振り返り | 倉石 哲也 氏 | 1/28、2/3 |
| 12 | 幼稚園での3～5歳児の育ちと保育の見直し | 友定 啓子 氏 | 3/24 |
| 13 | 新規採用教員研修__マナー講座 | 岡田 京子 氏 | 4/2 |
| 14 | __シンポジウム「幼稚園の先生になって」 | 出原 大 氏、栗岡 明美 氏他 | 4/5 |
| 15 | __人権教育、合宿オリエンテーション | 小川圭子 氏、倉橋良太 氏他 | 7/29 |
| 16 | __自主研修、班別討議、実習、砂のアート、野外研修等 | | 8/3-6 |
| 17 | __グループ討議、発表、講評 | | 3/25 |

民間保育所協議会開催分(平成23年度分)

| | | | |
|----|--------------------------------|---------|-----------|
| 1 | 保育「環境とおもちゃ」(武庫川女子大学附属保育園) | 岩城 敏之 氏 | 5/10 保 |
| 2 | 体育「基本的な体のこなし方」～鉄棒・縄跳びなど～ | 坂本 滋 氏 | 5/25 保 |
| 3 | 音楽「オペレッタと歌唱指導」 | 井上 勝義 氏 | 6/3 保 |
| 4 | 食育(アレルギー食) | 坂本 廣子 氏 | 6/21 保栄調 |
| 5 | 食育(離乳食と手作りおやつ) | 小西 律子 氏 | 調整中 栄調 |
| 6 | 造形「調整中」 | サクラ 氏 | 9/2 調 保 |
| 7 | 人権「自分が優しくなると子ども達や周りの人にも優しくなれる」 | 仲島 正教 氏 | 9/26 外調 保 |
| 8 | 保育と環境「園見学と講義」 | 吉本 和子 氏 | 10/18 保 |
| 9 | 保育(3、4、5歳児) | 吉本 和子 氏 | 10/26 保 |
| 10 | 職員研修「チンパンジーの子育て」(仮題) | 林 美里 氏 | 1/21 仮 全 |

4. 認可外保育施設への支援について

(1) 市内の認可外保育施設の状況

平成 23 年 4 月 1 日現在、西宮市内には 58 の認可外保育施設があり、1,028 名の就学前児童が利用しています。

市内の認可外施設は、大きく分けて、主に従業員のための「事業所内保育施設」、幼児教育を主体とする「プリスクール等」、それ以外の「その他認可外保育施設」に便宜上分類することができます。

施設分類ごとの利用者数等については、下記の表のとおりとなっております。

西宮市内の認可外保育施設の状況（単位：箇所、人）

| 施設区分 | 施設数 | 利用者数 | | | (参考)待機児童数 |
|------------|-----|-------|-------|-------|-----------|
| | | 0～2歳児 | 3～5歳児 | 合計 | |
| 事業所内保育施設 | 16 | 123 | 119 | 242 | 12 |
| プリスクール等 | 6 | 122 | 226 | 348 | 1 |
| その他認可外保育施設 | 36 | 277 | 161 | 438 | 107 |
| 合計 | 58 | 522 | 506 | 1,028 | 120 |

注)平成 23 年 4 月 1 日現在。ただし、(参考)待機児童数については、平成 22 年度中に施設を利用した待機児童の延べ人数。

さらに、阪急夙川駅周辺を中心にこれらの認可外保育施設が集中している地域について、利用者数や保育内容等についてまとめると、下表のとおりとなります。

認可外保育施設の集積地区における状況

| 項目 | 状況 | 備考 |
|-------------|---|-------------------------------------|
| 属するブロック | 大社1ブロック | 待機児童数： 37名(H23.4.1) 345(H33推計) |
| 施設数 | 9箇所 (H23.4.1現在) | プリスクール等： 4箇所 その他認可外保育施設：5箇所 |
| 利用児童数 | 246名(同上) | 平成22年度中に施設を利用した 待機児童数(延べ人数)： 14名 |
| 保育時間 | 各園とも8:00～18:00の間は実施。その他園によって早朝、夜間等あり。 | |
| 保育内容・サービス内容 | ・受験対策： 2箇所 ・英語学習： 6箇所 ・早朝(～7:30)保育：2箇所 ・夜間(19:00～)保育：4箇所 ・休日保育： 2箇所 | |

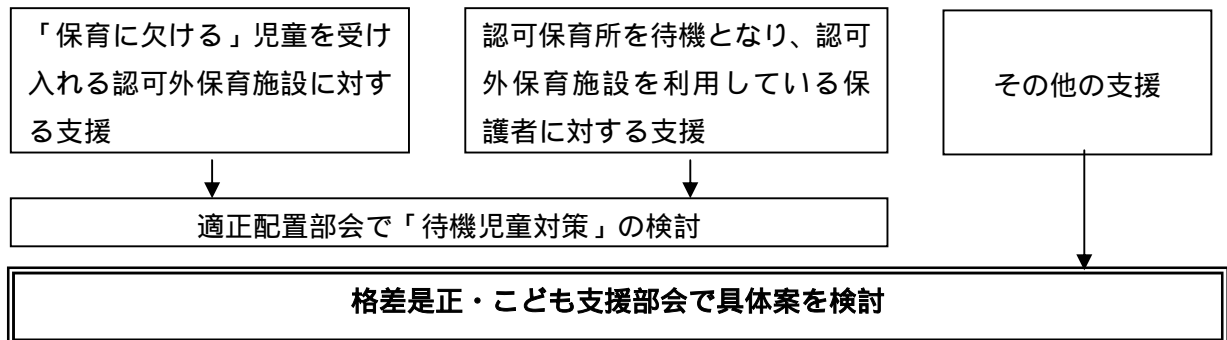
いずれの施設も早朝の時間帯を除き、認可保育所に近い時間帯で利用することができる一方で、施設によっては早朝・夜間、休日の保育を実施したり、英語学習や受験対策が受講できるといった、独自の保育・サービスを提供しているという特徴があります。

また、平成 22 年度の認可保育所の待機児童による、これら施設の利用状況は、ほぼ「その他認可外保育施設」に集中しております。

(2) 当作業部会における検討課題について

上記のとおり、本市における認可外保育施設の運営形態や保育内容は様々であり、利用者の利用目的もまた様々であることが想定されます。また、適正配置部会においては、待機児童対策の観点から、待機児童の解消を図る、あるいは認可外保育施設を利用する待機児童への支援について検討することとなっていることから、当作業部会においては、待機児童対策とは異なる観点からの支援の検討が必要であると考えられます。

認可外保育施設に対する支援策の検討



(3) 考えられる支援策について

認可外保育施設に対する支援を検討するにあたっては、下記の条件を満たすものであることが望ましいと考えられます。

《求められる支援策の条件》

- 待機児童対策とは異なる観点から実施するものであること
- 待機児童であるか否か、待機児童がいるか否かにかかわらず支援が受けられること
- 多様な施設の運営形態や利用者のニーズに対し有効なものであること
- あらゆる施設や利用者に対して必要なものを保障する
- 保育の質の向上や子どもの健康・安全等に寄与するものであること
- 施設の運営補助や利用者の負担軽減のみを目的としないこと

これらを満たす、今後検討が必要な支援策の内容については、次のようなものが考えられます。

《支援策の例》

1. 実態把握・指導監督の充実
2. 保育者への研修の充実
3. 安心・安全にかかる支援
4. 保健衛生にかかる支援

．第 2 回適正配置部会の報告

議事の概要

1．ブロックごとの待機児童対策の検討について

第 1 回作業部会において審議された、待機児童数や施設の需給状況などにより 4 つに分類されたブロック群からそれぞれ 1 ブロックを取り上げ、パターンごとにまとめられた対策の例を当てはめた場合の状況について質疑を行いました。

2．待機児童解消の状況について

「西宮市待機児童解消計画」の進捗状況と計画の見直し内容について、報告を行いました。

3．平成 23 年度アンケート調査の実施について

今後の幼児期の教育・保育のあり方を調査・審議するにあたり、保育者等の意見を把握するためのアンケートの実施について、概要と調査票（案）をもとに説明し、質疑を行いました。調査票の内容については、作業部会後期間において委員から意見を聴取し、検討を行うこととなりました。

1. ブロックごとの待機児童対策の検討について

浜脇1ブロック

| 就学前児童 | | | | | | | 施設数 | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|----|
| 居場所 | H23年 | | | H33年 | | | H23 | H33 | |
| | 0~2歳児 | 3~5歳児 | 合計 | 0~2歳児 | 3~5歳児 | 合計 | | | |
| 就学前児童 | 1,654 | 1,709 | 3,363 | 1,239 | 1,276 | 2,515 | 幼稚園 公立 | 2 | 2 |
| 保育需要 | 313 | 434 | 747 | 382 | 441 | 823 | 私立 | 2 | 2 |
| 待機児童数 | 30 | 4 | 34 | 105 | 98 | 203 | 保育所 公立 | 4 | 4 |
| 保育所 | 277 | 343 | 620 | 277 | 343 | 620 | 私立 | 6 | 6 |
| 幼稚園 | - | 980 | 980 | - | 980 | 980 | 計 | 14 | 14 |
| 合計(施設定員) | 277 | 1,323 | 1,600 | 277 | 1,323 | 1,600 | 認可外 | 12 | |
| 認可外(定員) | - | - | 278 | - | - | 278 | 子育て拠点 | 1 | |

(ブロックの特徴) 分類：パターンA

- ・ 3～5歳児については、施設の認可定員は児童数を満たしているが、待機児童は存在する。
- ・ 0～2歳児の待機児童が多い
- ・ 認可外保育施設の状況

6施設：定員 179名（事業所内保育施設、保育ルームを除く。以下同じ）

・・・その他認可外保育施設

大社1ブロック

| 就学前児童 | | | | | | | 施設数 | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|---|
| 居場所 | H23年 | | | H33年 | | | H23 | H33 | |
| | 0~2歳児 | 3~5歳児 | 合計 | 0~2歳児 | 3~5歳児 | 合計 | | | |
| 就学前児童 | 1,557 | 1,647 | 3,204 | 1,134 | 1,321 | 2,455 | 幼稚園 公立 | 2 | 2 |
| 保育需要 | 151 | 237 | 388 | 261 | 313 | 574 | 私立 | 3 | 3 |
| 待機児童数 | 28 | 9 | 37 | 171 | 174 | 345 | 保育所 公立 | 1 | 1 |
| 保育所 | 53 | 97 | 150 | 90 | 139 | 229 | 私立 | 1 | 2 |
| 幼稚園 | - | 940 | 940 | - | 940 | 940 | 計 | 7 | 8 |
| 合計(施設定員) | 53 | 1,037 | 1,090 | 90 | 1,079 | 1,169 | 認可外 | 11 | |
| 認可外(定員) | - | - | 444 | - | - | 444 | 子育て拠点 | 1 | |

(ブロックの特徴) 分類：パターンB

- ・ 施設数が不足しており、0～2歳児、3～5歳児ともに待機児童が多い
- ・ 阪急夙川駅周辺に認可外保育施設が集積している。夜間保育や休日保育を実施している施設があり、プリスクールも多い
- ・ 認可外保育施設の状況

9施設：定員 443名

(内訳) その他認可外保育施設・・・5施設：定員 146名

プリスクール等・・・・・・4施設：定員 297名

上甲子園ブロック

| 就学前児童 | | | | | | | 施設数 | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|----|
| 居場所 | H23年 | | | H33年 | | | H23 | H33 | |
| | 0～2歳児 | 3～5歳児 | 合計 | 0～2歳児 | 3～5歳児 | 合計 | | | |
| 就学前児童 | 1,721 | 1,698 | 3,419 | 1,352 | 1,456 | 2,808 | 幼稚園 公立 | 3 | 3 |
| 保育需要 | 261 | 358 | 619 | 376 | 459 | 835 | 私立 | 6 | 6 |
| 待機児童数 | 20 | 2 | 22 | 109 | 26 | 135 | 保育所 公立 | 4 | 4 |
| 保育所 | 219 | 361 | 580 | 267 | 433 | 700 | 私立 | 1 | 2 |
| 幼稚園 | - | 1,540 | 1,540 | - | 1,540 | 1,540 | 計 | 14 | 15 |
| 合計(施設定員) | 219 | 1,901 | 2,120 | 267 | 1,973 | 2,240 | 認可外 | 10 | |
| 認可外(定員) | - | - | 227 | - | - | 227 | 子育て拠点 | 0 | |

(ブロックの特徴)分類：パターンC

- ・ 待機児童は、0～2歳児は多く(H33：109名)、3～5歳児は少ない(H33：26名)
- ・ 私立幼稚園が多い(6園：認可定員1,050名)
- ・ 3～5歳児の施設定員は児童数を満たしているため、幼稚園の保育需要への活用が課題
- ・ 認可外保育施設の状況

6施設：定員172名・・・その他認可外保育施設

認可外保育施設については、ブロック内に存在する駅前等に立地

大社2ブロック

| 就学前児童 | | | | | | | 施設数 | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|----|
| 居場所 | H23年 | | | H33年 | | | H23 | H33 | |
| | 0～2歳児 | 3～5歳児 | 合計 | 0～2歳児 | 3～5歳児 | 合計 | | | |
| 就学前児童 | 1,059 | 1,020 | 2,079 | 720 | 699 | 1,419 | 幼稚園 公立 | 2 | 2 |
| 保育需要 | 191 | 219 | 410 | 221 | 215 | 436 | 私立 | 4 | 4 |
| 待機児童数 | 16 | 4 | 20 | 3 | -127 | -124 | 保育所 公立 | 1 | 1 |
| 保育所 | 218 | 342 | 560 | 218 | 342 | 560 | 私立 | 6 | 6 |
| 幼稚園 | - | 1,097 | 1,097 | - | 1,097 | 1,097 | 計 | 13 | 13 |
| 合計(施設定員) | 218 | 1,439 | 1,657 | 218 | 1,439 | 1,657 | 認可外 | 7 | |
| 認可外(定員) | - | - | 65 | - | - | 65 | 子育て拠点 | 2 | |

(ブロックの特徴)分類：パターンD

- ・ 待機児童数が少ない。平成33年では施設過剰になると推計
- ・ 幼稚園・保育所とも、私立の施設数が公立を上回っている
- ・ 隣接する大社1ブロック等の待機児童の吸収が課題
- ・ 認可外保育施設の状況

2施設：定員44名・・・その他認可外保育施設

阪急(夙川、苦楽園口、甲陽園)、JR(西宮、さくら夙川)の駅が近辺に存在するにもかかわらず、施設数が少ない

保育ルームが多い(5箇所)

2. 待機児童解消の状況について

保育所待機児童解消計画(平成24年度～平成25年度)

(各年度4月1日現在)

| | 平成21年度(実績) | | 平成22年度(実績) | | 平成23年度(実績) | | 平成24年度 | | 平成25年度 | |
|------------------|--|--------|--|--------|---|--------|---|--------|--|--------|
| | 3歳未満児 | 3歳以上児 | 3歳未満児 | 3歳以上児 | 3歳未満児 | 3歳以上児 | 3歳未満児 | 3歳以上児 | 3歳未満児 | 3歳以上児 |
| 就学前児童数(*1) | 29,094 | | 28,745 | | 28,468 | | 27,800 | | 26,913 | |
| | 14,605 | 14,489 | 14,326 | 14,419 | 14,169 | 14,299 | 13,308 | 14,492 | 12,712 | 14,201 |
| 保育需要率(*2) | 17.35% | | 18.99% | | 19.82% | | 21.24% | | 22.61% | |
| | 14.97% | 19.76% | 16.67% | 21.29% | 17.88% | 21.74% | 19.44% | 22.89% | 21.00% | 24.04% |
| 要保育児童数 | 5,049 | | 5,458 | | 5,642 | | 5,905 | | 6,084 | |
| | 2,186 | 2,863 | 2,388 | 3,070 | 2,533 | 3,109 | 2,587 | 3,318 | 2,670 | 3,414 |
| 保育所入所定員 | 4,290 | | 4,520 | | 4,700 | | 5,019 | | 5,349 | |
| | 1,636 | 2,654 | 1,744 | 2,776 | 1,890 | 2,810 | 2,065 | 2,954 | 2,192 | 3,157 |
| 保育所入所児童数 | 4,789 | | 5,093 | | 5,288 | | 5,644 | | 6,014 | |
| | 1,929 | 2,860 | 2,083 | 3,010 | 2,216 | 3,072 | 2,439 | 3,205 | 2,589 | 3,425 |
| 保育所入所弾力化率 | 111.6% | | 112.7% | | 112.5% | | 112.4% | | 112.4% | |
| | 117.9% | 107.8% | 119.4% | 108.4% | 117.2% | 109.3% | 118.1% | 108.5% | 118.1% | 108.5% |
| 家庭保育所・保育ルーム入所定員 | 66 | | 73 | | 127 | | 167 | | 167 | |
| | 66 | 0 | 73 | 0 | 127 | 0 | 167 | 0 | 167 | 0 |
| 家庭保育所・保育ルーム入所児童数 | 37 | | 55 | | 75 | | 98 | | 98 | |
| | 37 | 0 | 55 | 0 | 72 | 3 | 93 | 5 | 93 | 5 |
| 入所総児童数(+) | 4,826 | | 5,148 | | 5,363 | | 5,742 | | 6,112 | |
| | 1,966 | 2,860 | 2,138 | 3,010 | 2,288 | 3,075 | 2,532 | 3,210 | 2,682 | 3,430 |
| 待機児童数(-) | 223 | | 310 | | 279 | | 162 | | -28 | |
| | 220 | 3 | 250 | 60 | 245 | 34 | 55 | 108 | -12 | -16 |
| 保育所整備による定員増 | やまよし保育園(定員変更)+30 なぎさ保育園(定員変更)+10 中田家庭保育所(再開)+5 浜っ子家庭保育所(閉所)-8 虹の子家庭保育所(定員変更)-3 たけのこ家庭保育所(定員変更)+3 保育ルームKIDS(新設)+4 ぼっぼ保育ルーム(新設)+5 にここ保育ルーム(定員変更)-1 | | なでしこ保育園(定員変更)+30 ゆめっこ保育園(定員変更)+5 武庫川女子大付属(新設)+90 東山ぼぼ分園(新設)+45 夙川夢保育園(新設)+60 虹の子家庭保育所(定員変更)+3 保育ルームポニー(新設)+4 | | めばえの子保育園(新設)+30 かえで保育園(新設)+60 認定こども園きりん園(新設)+60 幸和園南園(新設)+30 保育ルーム(新設11箇所)+54 | | 保育ルームバンビ(H23.6開設)+5 郷免町保育園(新設・持込)+79 津門川町保育園(新設・市有地)+60 樋之池町保育園(新設・持込)+60 保育所改築整備に伴う定員増(2箇所)+60 賃貸物件活用型保育所分園(新設・持込2箇所)+60 保育ルーム(新設7箇所)+35 | | 甲子園口6丁目保育園(新設・市有地)+120 薬師町保育所分園(新設・市有地)+45 市有地活用保育所分園(新設・2箇所)+105 保育所改築整備に伴う定員増(2箇所)+45 鳴尾東保育所(建替えによる受入増)+15 | |
| | 対前年比定員45人増 | | 対前年比定員237人増 | | 対前年比定員234人増 | | 対前年比定員359人増 | | 対前年比定員330人増 | |
| 事業主からの持込による保育所整備 | | | | | | | | | 新設保育園A(持込)+60 新設保育園B(持込)+60 | |
| 保育所整備以外による定員増 | | | | | | | 「西宮市幼児期の教育・保育審議会」での検討事項 認証保育所制度・幼稚園との連携・活用 | | | |

*1 平成21～23年度は教育委員会資料(5月1日現在)、平成24年度以降は総合企画局資料に基づいて推計。

*2 平成24・25年度は、高位推計(過去最高であった21-22年度の伸び率、3歳未満児+1.7%、3歳以上児+1.53%)と低位推計(20-23年度の3ヵ年平均伸び率3歳未満児+1.42%、3歳以上児+0.76%)の中間値(3歳未満児+1.56%、3歳以上児+1.15%)で推計した。

3. 平成 23 年度アンケート調査の実施について

平成 23 年度 幼児期の教育・保育に関するアンケート調査（保育者版）の概要（案）

| | |
|-------|---|
| 委託先 | 武庫川女子大学 |
| 調査の目的 | 今後の本市の幼児期における教育・保育のあり方を調査・審議するにあたり、保育者の意見を把握すること等を目的とする。 |
| 委託内容 | アンケート調査を実施。その調査結果を分析し、西宮市幼児期の教育・保育審議会における基礎資料を作成する。22 年度に実施した保護者アンケートの結果との関係についても比較、検証する。 |
| 調査対象 | 市内の公立・私立幼稚園、保育所、小学校の教員・保育士等約 600 人 |
| 調査方法 | 施設長等を通じ配付・回収 |